

2019年5月19日(日)朝10:10～  
5月第3共同主日礼拝式説教

主の復活節第5、冷暖房機器入替等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：求める者は、受ける(1節)

聖書：マタイ 7章7～12節

＜口語訳＞

新約聖書9～10頁

マタイ 7章7～12節

＜新共同訳＞

新約聖書11～ 頁

マタイ 7章7～12節

＜新改訳第3版＞

新約聖書11～12頁

マタイ 7章7～12節＜塚本訳＞

新約聖書83～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓あるいは説教と表現される箇所です。
- ◇本日は、**マタイ7章7～12節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、先週の「**裁くな**」(1)で、「**犬の心、豚の心**」が私たちにもあるということで、「**落ちしたり、思い煩ったり**」(7:6)している者に、「**求めよ、さがせ、戸をたたけ**」と、**御子イエス・キリスト様**は、前向きに生きることを求めておられます。
- ◇**マタイ7章12節**の「**黄金律**」と呼ばれることば、「12 だから、何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい。これが律法と預言書(と[聖書]の精神)である。」は、**マタイ7:7～11**のまとめの聖句でもあります。「**裁くな**」と語られた主は、私たちの心の「**焦点**」が誰か、何かです。

本論；

◇本日、**マタイ書7章7～12節**から主の**使信**に  
**思い・心**をとめます。

◆**マタイ7章7～12節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様への何**を「**求め、さがし**」、その結果、「**戸を叩く**」かを**問う**ておられます。

◇**7～11節**；**塚本訳◆求めよ**<7～11>

「7 (ほしいものはなんでも天の父上に) 求めよ、  
きっと与えられる。さがせ、きっと見つかる。  
戸をたたけ、きっとあけていただける。

8 だれであろうと、求める者は受け、さがす者は  
見つけ、戸をたたく者はあけていただけるの  
だから。

9 あなた達のうちには、自分の子がパンを  
求めるのに、石をやる者がだれかあるだろうか。

10 また魚を求めるのに、蛇をやる者がある  
だろうか。

11 してみると、あなた達は悪い人間であり  
ながらも、自分の子に善い物をやることを  
知っている。ましてあなた達の天の父上が、  
求める者に善い物を下さらないことがある  
だろうか。」

## ◇12節;塚本訳◆黄金律<1~6>

「12 だから、何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい。これが律法と預言書(と[聖書]の精神)である。」と、**使徒マタイ**は語っています。

◇7~8節;①「(ほしいものはなんでも天の父上に)求めよ、きっと与えられる」、②「さがせ、きっと見つかる」、③「戸をたたけ、きっとあけていただける」、そして、「だれであろうと、求める者は受け、さがす者は見つけ、戸をたたく者はあけていただける」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、語られました。

⇒「(ほしいものはなんでも天の父上に)求めよ、きっと与えられる」と「さがせ、きっと見つかる」は、「**裁くな**」の禁止命令に対し、前向きな生き方です。

⇒「だれであろうと、求める者は受け、さがす者は見つけ、戸をたたく者はあけていただける」と、「戸を叩く」を加えて、自分の心の枠を除け、「**御子イエス・キリスト様**」との会話へと関りをもってほしい主の思い、心配りがあります。

◇9～11節;「あなた達のうち」、①「自分の子」が「パンを求めるのに、石をやる者がだれかあるだろうか」、②「魚を求めるのに、蛇をやる者があるだろうか」、「してみると」、「あなた達は悪い人間でありながらも、自分の子に善い物をやることを知っている。「まして」、「あなた達の天の父上が、求める者に善い物を下さらないことがあるだろうか」、「**御子イエス・キリスト様**」は、「あなた達」を中心において、「悪い人間」でありながらと、その心を暴いて、「求める者(犬や豚の心の者)」に、「善い物」を与える主を示しておられます。

⇒日常的に、私たちは、主のみことばを聴きながら、主のみことばに聴き従いませんから、素直に自分の心を見ると、絶望的になる者です。

⇒「悪い人間だ」と語られる主に完全降伏して、十字架の主におすがりするなら、求めが見えてきます。

⇒求めることがすべて実現しないで、失望し、求めつづけ、祈りつづけられない忍耐力のない自分を認めざるを得ません。

⇒あなたは何を求めているのか分らずにいる！

◇**12節**；「何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい」、「これが」、「律法と預言書(と[聖書]の精神)である」、「**御子イエス・キリスト様**」は、弟子たちに「聖書(当時は旧約聖書)」を指し示して、これに聴き従うことが、「何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい」という究極の命令を受けとめることになるかと仰せです。

⇒「**マタイ5:48** だからあなた達は、天の父上が完全であられるように『完全になれ。』」の「完全(ヘブル語でシャレーム)」は、欠けがあるが、欠けを主が補って満たして下さる事です。

⇒**OA師**は、「この醜い悲しい者に、これを行う力がどこから来るのかということです。主よ、お助けください。私は罪ある者。この「黄金律」でさえ例外を作って拒否する者です。あれは愛せない。あれは赦せない。こう考えてくるとあの「天の父の広さで、あなたも欠けのないシャレームな人であれ」というお言葉は、ここまで続いてしかも鋭い形で追っているのです。」と語っておられます。

## 結論；

- ◇ **神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇ **マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇ **マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。
- ◇ 本日は、**マタイ7章7～12節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、先週の「**裁くな**」(1)で、「**犬の心、豚の心**」が私たちにもあるということで、「**落ちしたり、思い煩ったり**」(7:6)している者に、「**求めよ、さがせ、戸をたたけ**」と、**御子イエス・キリスト様**は、前向きに生きることを求めておられます。
- ◇ **マタイ7章12節**の「**黄金律**」と呼ばれることば、「12 だから、何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい。これが律法と預言書(と[聖書]の精神)である。」は、**マタイ7:7～11**のまとめの聖句でもあります。「**裁くな**」と語られた主は、私たちの心の「**焦点**」が誰か、何かです。

◇「わたしたちの負い目を してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。」(6 :12)

「人に判決を下すな。自分の目にある大きな横材が見えるか。まずその巨大な材木を除いていただくことだ。」(7 :5)

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。聖書が命じておること、神の基準で“義”というのは結局これだ。」(7 :12)

「人の前で貧相な義を見せびらかすな。まず神の支配と神の義とを求めよ」(6 :33)

「天の父が例外抜きで、欠けた部分なしで慈しんでくださるのと同じに、どんな人も例外を作らずに赦して、愛してみよ。」(5 :48)

⇒「主よ、この黄金律に感激して部屋に飾るだけに終わらせないでください。あの人だけは愛せない、赦せないという例外のところがなくなるよう、欠けた部分がなくなった愛し方ができるよう、その力を与えてください。」と祈りましょう。